

---

# 鬼束ちひろの「月光」を小説化してみた 1

十歌龍太

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タ  
テ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。  
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または  
は「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒ  
ナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範  
囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致し  
ます。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

鬼束ちひろの「月光」を小説化してみた1

### 【Zコード】

N8073M

### 【作者名】

十歌龍太

### 【あらすじ】

神の娘である少女は罪悪感で潰れていた。圧倒的過ぎる罪。理解  
されぬ心。少女に希望はあるのか。しかし、そんな少女に希望など  
あつてもいいものなのだろうか

## 気持ちの矛盾と昭らかす心の聲（前書き）

鬼束ちひろの歌は何でも好きです。昨日初めて月光の歌詞を見たときにストーリーが浮かんできまして、「これなら小説にできるのは？」と思いましてやってみた所存であります。おそらく4・5・6あたりで終わるのではないかと思います。まあ、見てやってください。

## 気持ちの矛盾と明らかすぎる罪

私は神の娘。神となるために生まれた存在。いつかはこの世界を人間にとつて素晴らしいものにしようと考えていた。そうするためにつれてきた、といつても過言じゃなかつた。

でも、私の存在は人間にとつて、いや世界にとつて害悪だつた。害悪過ぎた。よつて世界はこうなつてしまつた。

今の私には言い訳をすることすらできないのかもしれない。その資格があるとは、私自身も思つていない。けど、もし言い訳できるならば私は決して悪ではなかつた。ただこうなつてしまつただけだ。なんでだろう。私はどこで間違つたのだろう。生まれたところから? 人間界に降りたところから? おそらく後者なのは分かつている。けど仕方がなかつた。人間界は腐敗しきつっていた。降りなければならなかつた。降りなければ世界はもつと早く死んでいたことだろう。

けど、それでも私のせいでこうなつてしまつた事には変わりはない。私は取り返しのつかないことをしてしまつた。私は人間から責められ続けるだろう。

私だつて、私だつて苦しい! 何も考えていないわけじゃない! 私はこんなもののために生まれたんじやない! ……。

私が今いる位置から目測一キロのところにそれはあつた。一キロ先からでも見ることのできるそれは、兵器だつた。全長一キロメートル、高さ500メートルの蜘蛛型兵器 吽。この世の終わりを作り出すために存在する対人間専用殺戮兵器の名前としてはちょうどいいだろう。

吽は人間を殺すことしか考えられない人工知能を植えつけられている。そして人間の腹の辺りを何十万もある刃で切り刻む。人間を探し出すことに長けていて、最後の一人まで殺せる。そして永久に止まらない。永遠に動き続ける。

ちょうど私の目の前に20歳くらいだろうか、女人人が 吻 に捕捉された。女人人は大声で叫びながら、狂ったように走っている。しかし、 吻 の足に収納されていた刃が高速で女人人の腹を貫く。血が噴水のように噴出している。さらに腹に執拗な攻撃を繰り返す。女人人の体は二つに分かれる。しかし断面をくつづけても、元には決して戻らないだろう。腹は、ただの肉塊と化しているのだから。

吻 には人類の火薬兵器や核兵器は効かなかつた。当たり前だ。動力に永久機関である神の心臓を使つてているから、人間の兵器は効かない。完全にどうしようもない。人類の滅亡は決定していた。

「お前が神の娘、須海ミカ（すかいみか）か。貴様があの兵器に心臓を与えたそうだな。人類の平和のために貴様を拘束する。死刑でないだけありがたく思え」

ガチャン、と無機質な鉄の錠が閉まる音がする。私の体にはあまりにも太く大きすぎる鎖が手と足に装着される。

私は罪を償いたい。けど私のせいだけではないと分かつてほしい。罪悪感と理解してほしいと願う心がきつく絡み合う。

私は、牢獄行きとなつてしまつた事に嬉しさと苦しさを感じる。誰かに救つてほしいと、心の奥底で願いながら。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8073m/>

---

鬼束ちひろの「月光」を小説化してみた 1

2010年10月11日15時51分発行